

平成 29 年度 日本手術看護学会九州地区熊本分会 第 2 回研修会報告

平成 30 年 2 月 17 日

日本手術看護学会九州地区熊本分会長 松原 雅子

1. 日時

平成 30 年 2 月 17 日（日）13 時～16 時 30 分

2. 場所

熊本大学医学部附属病院 医学教育図書棟 3 階 第一講義室
および総研棟 3 階講習室

3. 参加者

熊本県内および近県の手術室看護師 143 名（会員 40 名、非会員 103 名）

4. 目的

麻酔の基本と周術期の体温管理について学ぶ

5. 内容

講義 「麻酔の基本」

講師：熊本大学医学部附属病院 中央手術部医師 石村達弘先生

講義 「周術期の体温管理」

講師：手術看護認定看護師 佐々木陽子先生

6. 平成 29 年度第 2 回研修会アンケート結果

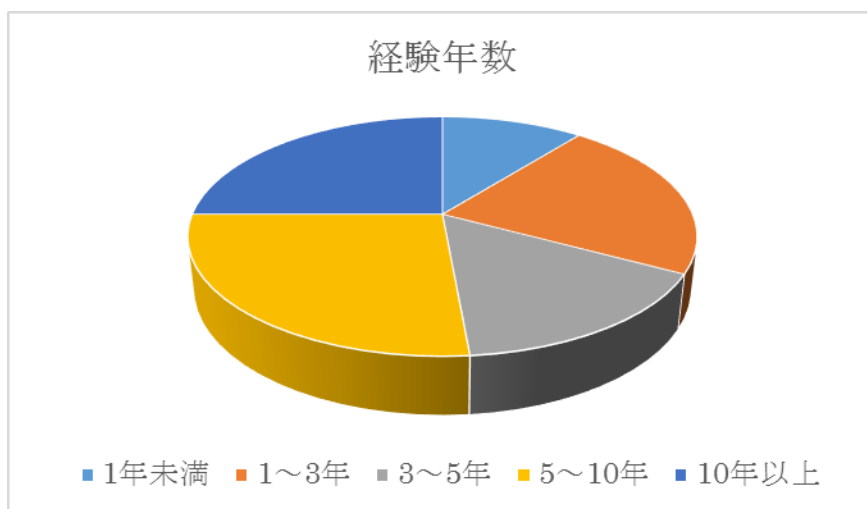
参加人数 143 名（会員 40 名 非会員 103 名）

アンケート回収率 97.9%

1、手術室経験年数

① 1 年未満（15 名） ② 1～3 年目（31 名） ③ 3～5 年目（22 名）

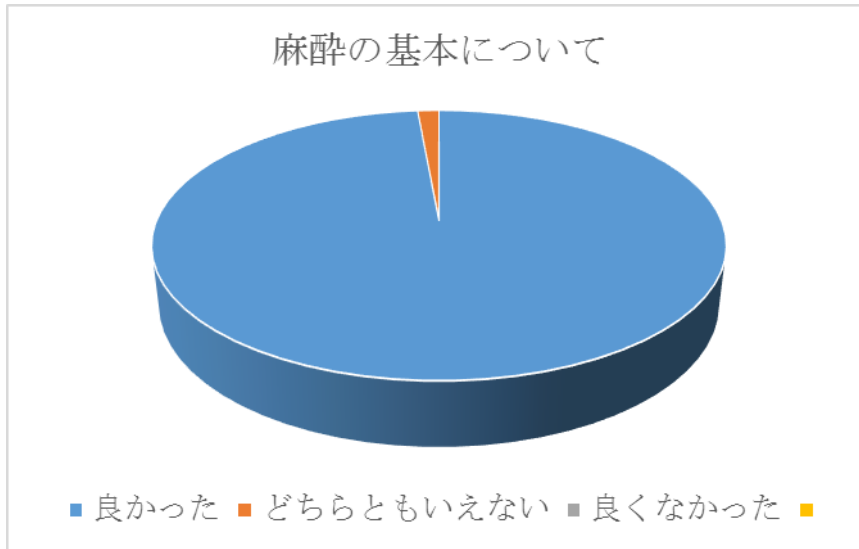
④ 5～10 年目（37 名） ⑤ 10 年以上（35 名）



2、研修の感想をお聞かせください

〈麻酔の基本について〉

①良かった（138名）②どちらともいえない（2名）③良くなかった（0名）

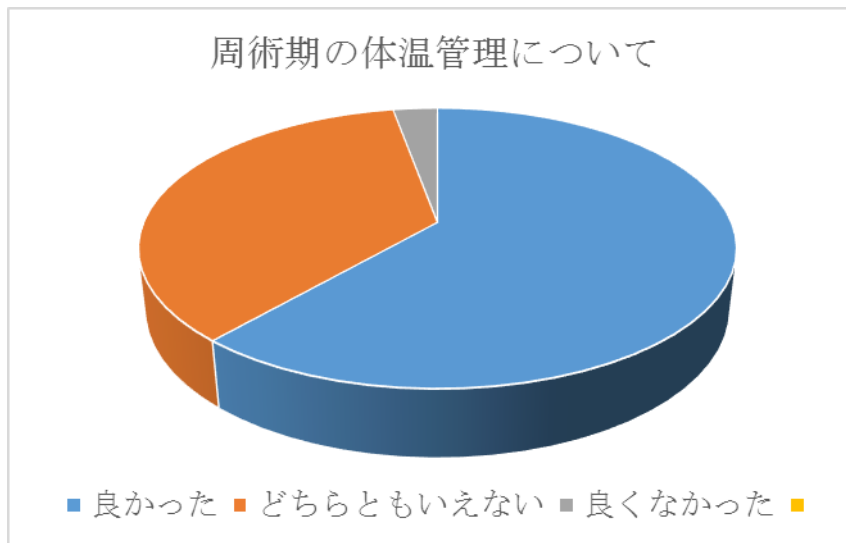


（理由）

- ・復習となった。
- ・図や穴埋め方式が良かった。スライドが見やすかった。
- ・スライドが早すぎてメモができなかった。
- ・資料がもっとほしかった。
- ・時間が足りなかった。もっと聞きたかった。
- ・楽しく知識を身につけることができた。
- ・自分の行っている介助の意味を確認することができた。
- ・新しいことが追加されていて良かった。
- ・麻酔の効果時間がわかったことで退室に向けてのスムーズな計画が立てられる。
- ・外回りをする際に、モニターのどこに注意すればよいか学ぶことができた。

〈周術期の体温管理について〉

①良かった（86名）②どちらともいえない（50名）③良くなかった（4名）



(理由)

- ・資料がわかりやすかった。
- ・後輩の指導する際の参考にしたいと思う。
- ・テーマが絞られていて良かった。時間もちょうど良かった。
- ・自施設でできていることの再確認になった。
- ・体温について詳しく知ることができた。
- ・資料が多く、後から見直すことができるので良かった。
- ・当院でもプレウォーミングを取り入れたい。
- ・シバリングの発生機序がわかった。
- ・難しい言葉が多く実践とリンクしなかった。
- ・内容が多すぎて入らなかった。
- ・具体的に実践できるような新しい情報も得られたらもっと良かったと思う。
- ・事例があるとわかりやすかった。
- ・悪性高熱のメカニズムが聞きたかった。

3、今回の研修はどのようにして知りましたか

- ①学会ホームページ (34名)
- ②施設に送付された案内文書 (96名)
- ③知人から聞いて(12名)
- ④その他 (1名) 上司からのすすめ
- ⑤未回答 (3名)

4、今後聴講したい講師やテーマがありましたらご記入ください

麻酔関連

- ・麻酔の応用編（呼吸管理、循環管理、モニター方法など）
- ・緊急時の対処方法（大量出血、急変時の対応、チーム連携など）
- ・術中使用する薬剤について
- ・区域麻酔、末梢神経ブロックについて
- ・麻酔外来の実際
- ・小児麻酔、小児看護、心臓血管外科の麻酔
- ・麻酔科医による体温管理
- ・術前に麻酔医が取る情報について
- ・石村先生
- ・大分の宮本 Dr

看護関連

- ・高齢者、認知症の周術期看護について
- ・手術室における看護診断
- ・術中体位、除圧について
- ・他施設の工夫点について共有できる場がほしい
- ・手術室での流れについてビデオ視聴（症例が少ないので）
- ・器械出し、外回りの注意点など
- ・皮膚管理
- ・手術室における倫理
- ・術後訪問

7. 総括

日常の看護実践にすぐに役に立つ内容で、参加者の満足度は高かった。
さらに、手術認定看護師から直接指導を受けることができ有意義な研修会となった。